

せとまちトーク進捗管理シート

祖母懐 連区

テーマ

旧祖母懐小学校跡地利用

課題・問題点の背景・理由

- ・学校が荒れる前に跡地の利用を決めたい
- ・宅地分譲に伴う道路整備
- ・瀬戸市における道路整備

解決手法

| 【行政】 | 【地域】 | 【その他】 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・国、県と連携して道路整備を進める ・にじの丘学園に入る道路を早急に広くする ・学校跡地の草刈りをしっかりと行う | <ul style="list-style-type: none"> ・地域に市議会議員が欲しい | <ul style="list-style-type: none"> ・学校跡地の整備、市内道路の整備を瀬戸市議会にお願いしたい |

関係する常任委員会

総務生活委員会
都市活力委員会

せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

現状把握

- ・令和4年度は旧校舎・体育館の解体工事が始動、その後、入札により開発業者が決定し住宅地として開発が進む予定。
- ・放課後学級の施設整備等、公共施設としての機能の環境整備、東保育園の移設計画による民設民営の保育園整備の進捗など周辺のインフラ整備に伴い計画的に実施。
- ・最優先は項目の一つとして、県道塩草線の取り付け道路の警備が急務。
- ・通学路の安全安心ルートの確保など道路整備に伴い、優先して実施。

委員会での主な質疑

- ・地域住民の皆さんの意向を優先し、跡地利用の事業推進を図ること。
- ・最終避難場所としての”にじの丘学園”の機能には、祖母懐地区は恵まれているが人口増加が見込まれる地域で有ることから、今後の児童・生徒増加の対応が検討課題ではないか。

【補足】

- ・5校の跡地利用のモデルケースとして注視し、今後、他地区の動向にも大きく影響すると考えます。
- ・最終避難場所としての”にじの丘学園”を控えて要るからできることでは有りますが、各課が横断的に取り組まなければならないことで、今後の取組が問われるケースでもある。

せとまちトーク進捗管理シート

祖母懐 連区

テーマ

旧祖母懐小学校跡地利用

課題・問題点の背景・理由

- ・学校が荒れる前に跡地の利用を決めたい
- ・宅地分譲に伴う道路整備
- ・瀬戸市における道路整備

解決手法

【行政】

【地域】

【その他】

- ・国、県と連携して道路整備を進める
- ・にじの丘学園に入る道路を早急に広くする
- ・学校跡地の草刈りをしっかりと行う

- ・地域に市議会議員が欲しい

- ・学校跡地の整備、市内道路の整備を瀬戸市議会にお願いしたい

関係する常任委員会

総務生活委員会
都市活力委員会

せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

せとまちトーク以前から、祖母懐地区協議会における旧祖母懐小学校跡地活用案で、主に住宅用地となる案を受けて、前面道路である萩殿春雨線の拡幅が地域から要望されていた。

令和4年3月定例会都市活力分科会準備会において、道路拡幅は行われる予定となっていることを確認。市道(萩殿春雨線)のうち、旧祖母懐小学校接道面に関しては、今後プロポーザルで決まる住宅開発の民間事業者施工。県道接続までを市施工、拡幅敷地は県保有林である。現在進行中の愛知県施工の県道塩塚線の拡幅付け替えに合わせ、側道整備を行うが、これらを合わせてR6年度中に完了する見込みとなっている。なお、市道のうち、旧祖母懐小学校の西側、国道155号線までの拡幅も要望されていたが、民地が多く接していることや、交差点改良が必要なことから、実施しないことにしている。

予算審査における質疑では、

Q. 市側の跡地活用の工事進捗と、市道萩殿春雨線の拡幅工事進捗、接続する県道塩塚線の工事進捗をどのように連動させていくか。特に安全対策について伺う。

A. 工事が重なることから、学校の授業期間中にも生活道路への工事車両の通行も生じる。児童生徒や地域の方々の安全確保を最優先とし、地域への情報提供に努め、適切な対応を図れるよう事業調整を行い工事を進めていく。

【補足】

事業としては、地域要望に応える形で進められる。

今後、確実に安全対策が実施されながら、事業が進められることを見守っていく必要がある。